

お忙しくても、約 2 分間で読めます

# ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

## 経営者への活きた言葉

### 日本流の「経済」と「道徳」のバランスが求められている

1. 伊藤忠商事の創業者伊藤忠兵衛は、「座右の銘」として次のように語っている。「商売は菩薩の業、商売道の尊さは、売り買い、何れをも益し、世の不足をうずめ、御仏の心にかなうもの。利真於勤（利を勤むるに於いて真なり）」。
2. 利益を追及することは、それに懸命になり浮利を貪るのでなければ「真」である。売り手、買い手だけでなく、その商売によって世の中の不足を補って社会に貢献することが商売の本道である。近江商人が江戸時代に練り上げてきた職業倫理だ。近江商人の教えには「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」の「三方よし」が商売の常道ともある。今日でいうCSR（企業の社会的責任）の必要性が江戸期に既に説かれている。
3. 「利益を最大化する」という欲望を原動力とする市場経済は、宿命的にバブルへ向かう志向性を持っている。それを律する「道徳」がなければ、バランスは崩れる。改革開放路線がもたらした中国の急激な成長や、レバレッジの手法を駆使して仮想的な価値を積み上げてきた米国経済がそうだった。「経済」と「道徳」の均衡を保つ日本流のバランス感覚が、今こそ求められている。

(参考：「日経ビジネス」2009年1月5日号)

## ワンポイント経営アドバイス

### 原理原則に徹する

1. 中小企業の力の見せ所
  - ① 大企業にできないシンプルさで勝負
  - ② 小回りの利く超クイックレスポンス
  - ③ 社員一丸で対応する結束力
  - ④ 気後れしない明るいプレゼンテーション力
2. 会社再生の4つの取り組み
  - ① 自社ブランドに経営資源を集中。品質にとことんこだわる。
  - ② 社長自ら電子メールで顧客対応
  - ③ 小さなクレームも決して疎かにしない
  - ④ 顧客（得意先と仕入先）の声に耳を傾けじわじわ成長

(参考：「日経バンチャー」：2009年2月号)

## 海外事情

### 都会を捨て始めた若者たち（米国）

1. 米国の歴史は西へと開拓団が向かうフロンティア精神とイコールだが、このところその逆の動きが起きて注目されている。昨年1年間に18歳～35歳の若い人口の流出が最も激しかったのは、カリフォルニア州だという。理由は、「失業率が高く仕事がない、家賃が高い」というものだ。
2. このことによる州税の減少、若い働き盛りの世代が少なくなることでの産業の衰退など、引き起こされる問題は多い。カリフォルニア州の場合、中南米を中心として移民が増えているため、全体の人口は増えている。ただし、こうした移民はブルーカラーが中心で、英語のコミュニケーションができないなど、教育の面でも州の負担は重くなる一方だ。

(参考：「WEDGE」2009年3月号)

## 古典に学ぶ

### 志学とは

「志学という言葉は、論語の中にある言葉です。すなわち“吾れ十有五にして学に志す”とあって、孔子自身の学問求道のプロセスをのべられた最初の一句であります。これは言い換えますと、孔子の自覚的な生涯は、ここに始まったということでもあります。しかもこのことは、ひとり孔子のみに限らず、すべての人間の自覚的な生涯は、すなわちその人の真の人生は、この志学に始めると言ってもよいのです」

(参考：森信三「修身教授録抄」：致知出版社)